

広報

ゆうばい

No. 1316 2012

11

- 財政再生計画の平成23年度実施状況 2
- 市営住宅を考える③
～安心・安全の居住環境を目指して～ 4
- 水道事業会計の状況 5



紅葉山駅当時の駅舎(北海道旅客鉄道株式会社提供)



現在の新夕張駅

開駅 120周年。

新夕張駅は明治25年(1892年)11月に紅葉山駅として開駅しました。その後、昭和56年(1981年)10月、石勝線の開業に伴い、現在の場所に駅舎を改築して新夕張駅となり、平成24年11月1日で開駅120周年を迎えました。

開駅当時は主に石炭輸送用の蒸気機関車が行き来しましたが、現在は夕張と札幌、帯広、千歳などを結ぶ交通の拠点として、普通列車、特急列車などが停車し、市民や観光客の足として年間約6万人に利用されています。

11月30日まで新夕張駅待合所で「新夕張駅開駅120周年記念写真展」を開催中。

財政再生計画の平成23年度実施状況

夕張市は、平成22年3月に総務大臣の同意を得て財政再生計画をスタートさせました。平成23年度の実施状況をお知らせします。

計画と具体的な措置の状況

事務と事業の見直し、組織の合理化

(1)から(8)の措置による削減効果額は平成21年度からの累積で84億4千3百万円でした。

(1)

◆一般職給与は、国家公務員準拠を原則とした上で、給料月額は平成21年度人事院勧告後の給料表を基本として、平均20%削減したほか、諸手当については計画どおりの削減を行い、特別職給与や議員報酬、非常勤特別職報酬についても計画どおりの削減を行いました。

(2)

◆賃金や旅費、需用費、委託料、備品購入費などの物件費は、計画どおり経費の削減に努めたほか、契約事務の適正化に努めることによって、計画に比べて減額となりました。

(3)

◆各種公共施設や公営住宅に要する管理経費などの維持補修費は、計画どおり経費の削減や契約事務の適正化に努めたほか、公衆浴場などにおいて、緊急的な対応が必要となつた維持補修は、財源の確保を図りながら修繕を実施しました。◆平成23年度は記録的な豪雪に見舞われたことから、除雪に関する経費を増額する計画変更を行いましたが、除雪基準に基づく必要最小限の除雪に努めるなど、計画に比べて減額となりました。

(6) ◆ 計画期間内に投資的経費

◆計画期間内に実施する主要事業として位置付けしている市営住宅再編事業において、新しい市営住宅の建設が始まり、過疎債のソフト事業を活用した市営住宅や不用公共施設の除却事業、市営住宅の地上デジタル放送移行に対応するための事業、石炭博物館の改修事業など、必要性や財源について十分な検討を行つた上で実施し、計画どおり経費の削減に努めました。

◆全国から寄せられた指定寄附などを財源として、市民活動を促進するための助成事業を実施しました。

地方税その他の収入の増徴に関する状況

療費などが見込みを下回ったことから、計画に比べて減額となりました。

(8) 他会計繰出金

(7) ◆公債費

◆公債費は、計画どおり償還を行い、着実な債務の返済を実施するとともに、北海道市町村振興基金貸付金の償還特例支援に対応するため、将来の償還に備えた減債基金への積立てを開始しました。

(8) 他会計繹出金

◆市営住宅使用料は、滞納者への発布する催告書を職員が各滞納者本人へ手渡すとともに、その場で折衝を行うなど、滞納者への督促を徹底しており、督促に応じない悪質滞納者5人について法的措置により明け渡しを受けました。

東京都の支援で公営住宅の収納に関する専門知識を有する職員の派遣があり、滯納対策について情報交換を行い、職員のスキルアップが図られました。

その他財政の再生に必要な事項の措置の状況

◆実質的な計画期間の2年度目である平

計画額と実績額の比較と再生
振替特例債残額の状況

超過課税または法定外普通税による地方税の増収に関する状況

次の措置による平成21年度からの累積効果額は1億6千9百万円

◆市税は、法令上の上限の税率などを踏まえ、平成19年度に行つた見直しを継続して実施しました。

- ◆財政再建関係の観察の有料化や公用車・ホームページを広告媒体として活用し、
実施し、駅名標など44品を売却しました。
- ◆市庁舎の有効活用として、1階スペー
スの半分を金融機関に店舗として有償貸
与しました。
- ◆収入の確保に努めました。

- ◆ 次の措置による平成21年度からの累積効果額は2億3百万円
- ◆ 使用料と手数料は、平成19年度に実施した引き上げなどの見直しに基づき、引き続き収入確保に努めました。
- ◆ 水道事業における浄水場施設の更新にあたり、公平な受益者負担の観点から、現行の水道料金の見直しを行い、平成24年4月1日からの適用実施を決定しました。

使用料などの変更、財産の処分その他の歳入の増加に関する状況

成23年度については、計画策定後に生じた新たな諸課題に対応するため、事務事業の必要性や緊急性などを十分検討した上で、財源確保を図りながら計3回（9

月、12月、3月）の計画変更を実施しました。

◆当初の財政再生計画策定後に実行する計画変更において、後年度の財政負担が生じる事項については、その必要な財源を新たに設置した財政再生計画調整基金に積み立てることにより、計画の着実な実行を図ることとした。

◆平成23年度においては、これまでの企
業効率活動の成長により、2年ぶりに所
を回ることとなりました。

業誘致活動の成果として、2年ぶりに新たに企業が進出し、産業振興の活性化が見込まれるものですが、今後とも積極的な企業誘致を進めるためにも地場産業の振興を図ることで定住人口の増加と地方税の増収などに努め、地域経済の活性化を図ることとしています。

◆夕張市の再生のためには市民、議会、行政が一体となつて取り組むことが欠かせないことから、本市としては、今後とも情報公開の推進による透明性の高い行政運営に努めるとともに、市民参加や民間活力の導入など、市民・企業との協働による活力のあるまちづくりを目指すこととしております。

(单位：千円)

区分	平成23年度 計画額	平成23年度 実績額	差引増減	主な増減理由
歳入	11,167,848	11,403,972	236,124	地方税（固定資産税、市民税など）4千5百万円、地方交付税3億8百万円、国庫支出金（社会資本整備総合交付金など）△7千6百万円、地方債（公営住宅建設事業債など）△1億2百万円、その他（地方消費税交付金など）6千8百万円
歳出	11,167,848	10,816,099	△351,749	人件費（給料、各種手当など）△5千7百万円、物件費（需用費、委託料など）△6千4百万円、維持補修費（除雪委託料など）△2千2百万円、扶助費（重度心身障害者医療給付費など）△3千7百万円、普通建設事業費（市営住宅再編事業など）△8千4百万円
歳入歳出 差引額	0	587,873	587,873	
再生振替 特例債残額	32,199,000	32,199,000	0	

(单位: %)

健全化判断比率の状況

区分	早期健全化基準	平成23年度		【参考】 平成22年度 実績値
		計画値	実績値	
実質赤字比率	15.00	0.00	0.00	0.00
連結実質赤字比率	20.00	0.27	0.00	0.00
実質公債費比率	25.00	41.50	40.90	42.80
将来負担比率	350.00	937.00	891.30	922.50

※再生振替特例債	(平成21年度借入)
借入額	32,199,000千円
利率等	17年償還(3年据置)

■「萌団地」年度毎の建設計画

区分	建設	棟数	2DK (53m ² ・16坪)	2LDK (63m ² ・19坪)	3LDK (73m ² ・22坪)	合 計
市 営	平成24年	2 棟	6戸	4戸	2戸	12戸
	平成25年	4 棟	10戸	8戸	2戸	20戸
合 計		6 棟	16戸	12戸	4戸	32戸

南清水沢4丁目に新たな団地の工事が始まりました

新団地「萌」の建設と今後の取組みについて

市営住宅を考える③

南清水沢4丁目(南清水沢生活館向い)
に新たな団地の建設が始まりました。

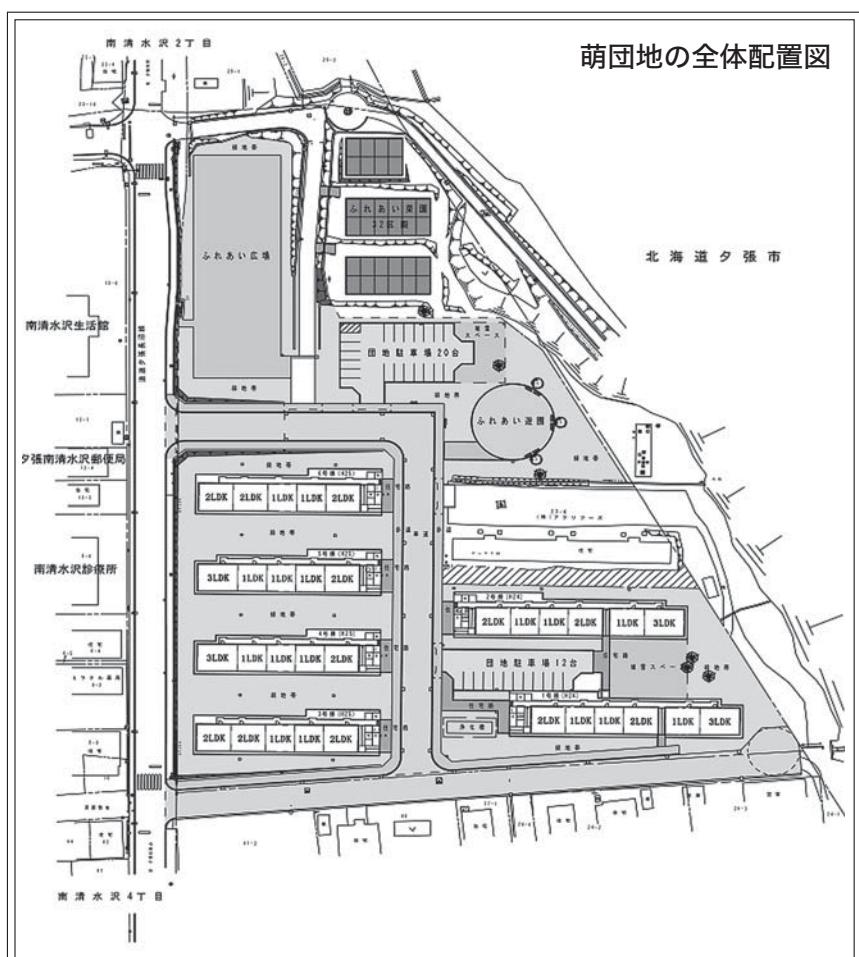
成予定)と平成25年度4棟20戸(平成26

年3月完成予定)の建設を予定しています。団地の名称は、夕張再生へ向けて踏み出したことによって、今後新たなまちづくりが芽を出すという願いを込めて「萌(めばえ)」と名付けました。

この団地は、全て木造平屋建ての住宅で、団地内には広場や菜園などが整備される予定です。南清水沢地区・清水沢宮前地区的市営住宅の建替事業のため、移転対象者が優先入居することになりますが、空きが生じた場合のみ一般公募となります。

市は人口規模から見て、多くの市営住宅を管理しています。入居戸数は全ての世帯数の43%にあたる2,444戸で、一方で、急激な人口減少により1,500戸あまりが空き戸となっています。昭和46年から50年代に建設された老朽化した住宅への依存度が非常に高い状況の一方で、建替えの対象となる住宅が全体の60%となっています。

市営住宅の課題



今後の取組み

市では「市営住宅等長寿命化計画」をとに市営住宅の再編事業を進めています。この計画では、コンパクトなまちづくりを推進する事業として、南清水沢を中心とした清水沢地区を含む清水沢地区を中心に平成27年度まで全体で100戸の建替事業を計画しています。

老朽化した危険住宅や、点在している1棟に1戸しか入居していない住宅の集約などを進め、安心・安全の居住環境づくりを目指します。

対象となる住宅に入居している方には、事前に意向調査やアンケートを取り、出来るだけ意向に沿った移転を進めていきますので、市民の皆さんの理解と協力をお願いします。

問合せ先

市上下水道課

52-3152

水道事業会計の状況

(平成24年度上期 4月から9月)

水道事業の経営や運営方針を市民の皆さんに知つていただくために、
地方公官企業法に基づき、水道事業の概要や経理の状況などを公表します。

【配水施設整備事業】

この事業は円滑な給水を行うため、配水管などの施設を整備するものです。今年度は、沼ノ沢地区増圧ポンプ更新、南清水沢地区送水ポンプ吐出管更新と昭和地区配水管新設工事を行います。

【浄水場計測設備整備事業】

この事業は浄水場運転のために必要な計器類を整備するものです。今年度は、濁度計の更新、流量計の更新工事を行います。

【メーター更新事業】

この事業は有効期限の満了となる水道メーターを交換するものです。今年度は市内全域644個の交換を行います。

【水質検査】

市民の皆さんに安全で良質な水を飲んでいたため、毎月定期的に各浄水場と各地区の給水栓の水質検査を実施しています。

○経理の状況 平成24年9月30日現在

収支の概要

区分	執行額
給水のための収益的収支	
収益的収入	194,963千円
収益的支出	58,620千円
配水施設などを整備するための資本的収支	
資本的収入	0千円
資本的支出	94,786千円
資産の現在高	5,284,055千円
企業債の現在高	1,142,634千円
一時借入金の現在高	20,000千円

○配水状況 平成24年9月30日現在

総配水量	日平均水量
711,685m ³	3,889m ³

○給水状況 平成24年9月30日現在

給水件数と給水人口	
件数	人口
5,434件	10,347人

用途別使用水量

種別	使用水量m ³	構成比%
家事用	318,368	57.1
業務用	159,272	28.6
浴場用	24,725	4.4
臨時用	275	0.1
特別計量	54,609	9.8
計	557,249	100.0

そよかぜ通信

冬場も食中毒に要注意！

以前は夏に多かつた食中毒が、年間通して発生するようになつてきました。発生件数が最も多いのは飲食店ですが、それに次ぐのが家庭です。一人ひとりの適切な知識と対応で食中毒を防ぎましょう。

食中毒予防の三原則

◇菌・ウイルスをつけない

食中毒予防には手洗いが重要です。その他、食品、調理器具はきれいに洗い、食品は菌がつかないようにふたやラップフィルムで覆つて保存しましょう。

◇菌・ウイルスを増やさない
食品は常温で放置せず、食べ残しも手早く冷蔵庫で保存しましょう。冷蔵庫に物を詰めすぎないことも大切です。

◇菌・ウイルスをやつつける

調理の際は十分に加熱しましょう。食品の中心部が85°C以上で、1分以上加熱するのが目安です。電子レンジで加熱するときは、時々かき混ぜて中まで十分温めましょう。調理器具（特に

布巾やスポンジ、まな板など）はこまめに洗い、定期的に漂白剤や熱湯で消毒しましょう。

食中毒かな？と思ったら

脱水状態にならないように水分をとり、早めに受診しましょう。寒がると

きは温かくし、安静にしましょう。自己判断で下痢止めや吐き気止めを飲んでいません。子どもや高齢者の場合、少量の菌でも重症化する傾向がありますので、特に注意しましょう。

手には見えない細菌がいっぱい

正しい手の洗い方

- ①指輪・時計などをはずす。
- ②流水で汚れを洗い落とす。
- ③石鹼を十分泡立てて、30秒以上洗淨する。特に、指のつけ根、親指、指先やつめの間をよく洗う。
- ④流水で10秒以上洗い流す。
- ⑤渴いた清潔なタオルで拭く。



まさかど スケッチ



老人福祉大会

9月28日、老人福祉会館において第48回夕張市老人福祉大会が行われました。老人福祉功労者表彰と大会宣言後に行われた演芸プログラムでは、大正琴、民謡、日舞、カラオケなど日頃の活動の成果を発表するなど、交流を深めました。



10月3日、清陵保育園でげんきルームが行われました。ごっこ遊びや特別に登場したポニーと触れ合うなど、みんなで仲良く楽しみました。



手作り工作教室



夕張記録を作ろう

10月14日、若菜連合町内会の防災訓練が行われました。避難困難者を住民が協力して避難する訓練、消防車からの放水、はしご車による救助、消火器を使った消火訓練などが行われました。



防災訓練

乳がん検診の指定医療機関の一部変更

やさしいメンタルヘルス 講座

合わせはコールセンターへお知らせします。

定期的（年2回）にお知らせ

昨年度中に40、45、50、55、

60歳になつた女性に「乳がん検

診無料クーポン券」を送付して

いますが、乳がん検診の指定医

療機関が次のとおり変更となり

ました。

とき 11月30日 午後1時30分～3時30分、12月6日 午後1時30分～3時45分

ところ 由仁町健康元気づくり館

内容 講演、講話、グループワークなど

受講料 無料

変更後 岩見沢市立総合病院市民健康センター（岩見沢市8条西7丁目9 ☎ 0126-32-0888）

変更前 栗山赤十字病院

◇岩見沢市立総合病院市民健康センターでの手続きについて

予約方法 電話による事前予約

持ち物 クーポン券、本人確認

のできる書類（健康保険証など）

検診時間 （問診・視触診）火曜日 午後1時30分～（マンモグラフィ検査）月・木・金曜日 午後2時～、火曜日 午後1時30分～

※1日で終了する検査は、1月末まで既に予約が入っていますので、希望者は早めに予約願います。札幌商工診療所と北海道対がん協会は、これまでと同様に検診を受けられます。

ジエネリック医薬品に関するお知らせ

申込・問合せ先 市保健係 ☎ 52-3106

4種混合ワクチンの導入

11月から、従来の3種混合ワクチン（百日咳・ジフテリア・破傷風）と単独のポリオワクチンに代わり、新たに4種混合ワクチン（百日咳・ジフテリア・破傷風・ポリオ）が導入されます。

4種混合ワクチン導入後、3種混合ワクチンと単独のポリオワクチンのどちらも未接種の方は、4種混合ワクチンを接種してください。

薬の特許が切れてから同じ有効成分で作られた薬で、厚生労働省から効き目や安全性が新薬と同等と認められています。薬の開発費用が少ない分、一般的には新薬より安い価格となります。

夕張市国民健康保険加入者の平成24年7月分薬代で、ジエネリック医薬品に変更すると自己負担額が300円以上安くなる

と思われる方を対象にお知らせします。ハガキ（差額通知）を発送します。ハガキの内容に関する問い合わせ先 市保健係

長寿をお祝い

今年度中に100歳を迎える長寿の方に贈られる内閣總理大臣からの祝状と記念品の銀杯の伝達が9月24日に行われました。

対象の方は4人。折原サワさん、近野トメさん、長谷川君江さんとほかに1人の方に祝状と記念品が贈られました。

9月30日現在、夕張市には百歳以上の長寿の方は12人います。



(写真上) 近野さん 左:折原さん、右:長谷川さん
(写真下)

対象者 4種混合ワクチン導入時点で生後3カ月から生後90カ月未満で、まだ3種混合ワクチンと単独ポリオワクチンのいずれの予防接種を1度も接種していない方。原則として、4種混

合ワクチンと3種混合ワクチンまたは単独のポリオワクチン

を規定回数接種することとなります。

接種回数 合計4回（初回接種3回、追加接種1回）

※初回接種は、20日から56日ま

します。

接種場所 市内医療機関

※対象となる方には個別に通知します。

問合せ先 市保健係

適正な医療機関の利用をお願いします

地域の医療は市民の皆さんとの理解と協力により支えられています。適正な医療機関の利用に協力をお願いします。

●夜間・休日の不要・不急の受診は控えましょう

日中から症状のある方や、緊急性のない症状（かぜ、切り傷、打撲など）で家庭の応急手当で様子をみることができるような軽い症状の場合は、できるだけ通常の診療時間内にかかりつけ医などの受診をお願いします。

意識がない、呼吸困難、激しい胸痛や頭痛、骨折など、生命に関わるがや急病で、緊急に搬送が必要なときは、迷わず救急車を要請（119番）してください。

（24時間体制）

●北海道小児救急電話相談

夜間の子どもの急な病気やけが、誤飲などの事故の際に、保

護者からの電話による相談に対して、専任の看護師や小児科医が助言を行っています。

☎ 011-232-1599

（プッシュ回線の固定電話と携帯電話からは、短縮ダイヤル「#8000番」も利用できます。）

電話相談受付時間 午後7時～午後11時まで（毎日）

●北海道救急医療・広域災害情報システム

受けがや急病などの救急時に、受診可能な医療機関の情報を24時間体制で提供しています。インターネット、電話（フリーダイヤル・携帯電話）、FAXから医療機関情報、休日・夜間当番医などを探すことができます。

qq.pref.hokkaido.jp

フリーダイヤル ☎ 0120-20-1201

FAX案内サービス ☎ 011-221-8699

携帯電話 ☎ 011-221-8699

●かかりつけ医を持ちましょう

自分的心や体の変調に気が付いたら、早めにカウンセリングを受けたり、専門の医師などにより的確に状態を把握してもらいうことが大切です。

市営住宅の入居者へ

かかりつけ医は、日頃から健康状態を把握して、病気の治療や健康管理など、何でも安心して気楽に相談に応じたり、必要な時には、適切な専門医や専門の病院の紹介をしてもらうことができるのです。

問合せ先 市保健福祉課

☎ 52-3106

昨年の豪雪を思い出し、本格的な冬の到来前に、入居している市営住宅について次のことを確認しましょう。

◆設備などの点検

水落としは正常に作動していますか？

灯油タンクから暖房器具までのゴムホースの劣化により、床などに灯油が漏れた跡などがありますか？

※事前に点検し、場合によっては専門業者に見てもらいましょう。

冬期間に長期留守をする場合は、必ず排水口に不凍液を入れ、留守にすることを市に届け出しましょう。

◆除雪などについて

通路などの共用部分は皆さんで協力して、トラブルの無いようになります。

市長とのふれあいトーク

市民の皆さんからの声を市長が直接聴き、市政に活かしたいと考え、市長とのふれあいトーク（市政懇談会）を開催します。

事前の申し込みは不要です。

とき・ところ

11月28日(水) はまなす会館
11月29日(木) 市民研修センター
11月30日(金) 紅葉山会館
いずれも午後6時から。

問合せ先

市まちづくり企画室 ☎ 52-3141

交通規制の予定

南北歩道橋の撤去工事に伴い、国道452号と道道夕張新得線の一部で通行止めを予定しています。

とき 11月20日から30日の期間中に各1日間

ところ 南部歩道橋付近の国道452号と道道夕張新得線

内 容 通行止め時は自転車や歩行者も通行できません。

※詳しい日程は決まり次第、北海道開発局と市のホームページや工事案内看板などで周知します。詳細は問合せください。

※詳しい日程は決まり次第、北海道開発局と市のホームページや工事案内看板などで周知します。詳細は問合せください。

※詳しい日程は決まり次第、北海道開発局と市のホームページや工事案内看板などで周知します。詳細は問合せください。

問合せ先 市建築住宅係

☎ 52-3119

問合せ先 北海道開発局札幌開発建設部岩見沢道路事務所
☎ 0126-40000

